

1 保育園について

ただいまの阿部祐奈議員のご質問にお答え申し上げます。

保育園についてであります。まず始めに、今年の4月から本格的にスタートした子ども・子育て支援新制度について説明いたします。

この制度は、消費税増税により増えた予算を活用して、社会全体で子どもの育ち、子育てを支えていこうとするものです。沼田市も実施主体として、市民の皆さんのニーズを調べた結果を基に「子ども・子育て支援事業計画」を作り、様々な事業を進めようとしています。

続いて、ご提案いただきました夜間保育園についてであります。沼田市には、現在、夜間保育園はありません。夜間保育は利用する人数の割に、多くの費用がかかるため、群馬県内でも実施しているところがない状況です。議員はご両親が残業のときはお祖母さんが面倒を見てくださったとのことですが、核家族化が進み、働き方が多様化しているなかで、沼田市でも、夜間保育を行って欲しいという声を聞く

ことがあります。まずは、夜間保育が必要な子どもさんはどのくらいいるのか、どういう形なら実施できるのか、費用はどのくらいかかるのか、など、様々な角度から研究してまいりたいと考えております。

次に、現在の保育士の状況についてであります。沼田市内の保育園、認定こども園では、約200人の保育士が働いています。新制度のもとで保育園などの充実が求められる中で、保育士の不足が全国的に大きな課題となっているため、給料の改善などにより保育士不足を解消しようとする取組が、国によって進められています。

最後に、保育園の入園状況についてであります。沼田市では、現在、保育園と認定こども園合わせて13か所で1,160人のお子さんが保育を受けています。少子化は進んでいますが、保育園などに入園する子どもの数は、横ばいとなっています。ここ数年4月1日時点の待機児童はゼロですが、年度初めの申込みで入園の枠がほぼ一杯になってしまう状況です。新制度のもとで、保育の受け皿を増やし、質を高めていく政策を進めてまいりたいと考えております。

以上申し上げます。阿部^{あべ}祐奈^{ゆうな}議員のご質問に対する答弁とさせて

いただきます。